

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	歩道等整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	1	4	○
政策	安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	道路河川管理課			
施策	交通安全の推進	担当課室長	永東 昇			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	歩道等総合整備計画に基づく対策による効果的な推進	③令和3年度に取組む改革・改善内容	歩道等総合整備計画に基づく対策のより効果的な推進。
②①に基づく取組み結果	歩道等総合整備計画に基づく事業を関係各課と連携し着実に推進した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	歩行者と車両の動線が輻輳している箇所	意図(対象をどうするのか)	交通事故の減少
②事務事業の概要	歩道等総合整備計画に基づき、道路区画線及び路側帯等のカラー舗装の整備を行うとともに、道路照明灯、ガードレール、道路反射鏡、道路標識等の交通安全施設の整備を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市内における交通事故発生件数は、H30:248件、R1:205件、R2:249件と、なっている。その内、高齢者の事故件数が全体の32.1%を占めている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	道路反射鏡23基、道路区画線10.0km、グリーンベルト1641.0m 交通立看板16枚						
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i	交通事故発生件数	248	205	249	件	業務取得
	ii	人口千人当たりの交通事故死傷者数	2.7	2.2	2.3	人	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算	
事業費(千円)	15,261	15,276	金額(千円)	内容		15,279	
国支出金(千円)	0	0	330	委託料		0	
県支出金(千円)	0	0	14,946	工事請負費		0	
市債その他(千円)	0	0				0	
一般財源(千円)	15,261	15,276				15,279	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	歩道整備には予算と時間が必要なため、本事業による新規対策箇所は増加すること及び対策済み箇所の維持管理費用も増加することが予想される。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	道路の機能管理面から安全確保を実施する責務があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	道路区画線、道路反射鏡の整備、道路標識・交通看板整備		令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費		予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	道路区画線、道路反射鏡の整備、道路標識・交通看板整備	15,279	15,279	当初	15,279	15,276	R1からの繰越	0
				R1⇒R2繰越	0		現年分	15,276
③達成状況	完了		補正	0				
④未完了・非着手の理由			流用・充当	0				
			令和3年度への繰越額(単位:千円)					

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	交通安全施設更新事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	1	4	○
政策	安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	道路河川管理課			
施策	交通安全の推進	担当課室長	永東 昇			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	日常点検を含む法定点検に対応した点検方法の制定。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	日常点検を含む法定点検に対応した点検方法の検討。
②①に基づく取組み結果	国基準等の情報収集を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	道路反射鏡等の交通安全施設	意図(対象をどうするのか)	交通安全施設の更新を行い、全ての人が安心して、道路を通行できるようにする。
②事務事業の概要	経年劣化により老朽化した各種交通安全施設(道路反射鏡等)の更新工事を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	道路施設の点検が法令で義務化される等、老朽化対策として事後保全型から予防保全型の維持管理方式への転換に対応する必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	道路反射鏡更新3基、交差点鏡(LEDソーラー一点滅式)2基、車線分離標17基、標識1基						
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i	交通事故発生件数	248	205	249	件	業務取得
	ii	人口千人当たりの交通事故死傷者数	2.7	2.2	2.3	人	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算	
事業費(千円)	2,598	2,596	金額(千円)	内容		2,600	
国支出金(千円)	0	0	2,596	工事請負費		0	
県支出金(千円)	0	0				0	
市債その他(千円)	0	0				0	
一般財源(千円)	2,598	2,596				2,600	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	市民要望からパトロールにより随時行う補修、更新と並行して、老朽化対策として事後保全型から予防保全型への維持管理への対応。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	法定管理者の責務として機能維持に努めることが必要なため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	交通安全施設の更新工事	令和2年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額			決算額		
②計画に対する事業実績	交通安全施設の更新工事	2,600	2,600	当初	2,600	2,596	R1からの繰越	0
				R1⇒R2繰越	0		現年分	2,596
③達成状況	完了			補正	0			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0			
				令和3年度への繰越額(単位:千円)	0			